

児童生徒の主体性・自主性を育む生活科・総合的な学習の時間の授業づくり
 ～中学校第2学年「将来の生き方と進路」の実践を通して～

日立市立久慈中学校

1 はじめに

本校では、教育目標を「意欲的に学び、心豊かに、たくましく生きる生徒の育成」とし、「自ら学び、確かな学力を身に付けた生徒の育成（知）」、「判断力と実践力があり、思いやりと優しさのある心豊かな生徒の育成（徳）」、「自ら身体を鍛え、心身ともに健康でたくましい生徒の育成（体）」を目指す生徒像として、日々の教育活動に取り組んでいる。

中学校学習指導要領（平成20年3月）では、総合的な学習の時間の目標に「横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成すること」がある。将来の予測が困難な現代社会を生きていく上で、自己の生き方を見つめて自己決定していくためには、自分の生活と関連付けて物事を捉える見方や考え方が重要になってくる。

第2学年では「将来の生き方と進路」をテーマとし、職場体験学習を通して自分自身の生き方について考える活動を行っている。実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析をして表現することを学び、探究的な学習に協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら積極的に社会に参画しようとする態度を養うことができるように工夫している。

2 指導案等

(1) 年間指導計画における本単元の位置づけ

「将来の生き方と進路」35時間			
「働くということ」を見つめよう (8時間)	「働くということ」を体験して調べよう (12時間)	自己の「働くということ」を伝えよう (8時間)	自己の進路計画を立てよう (7時間)

(2) 単元の概要

① 単元の目標

職場体験活動を位置付けた自らの「将来の生き方と進路」について考える学習を通して、働く人の様々な思いや考えを感じ取り、将来の働く自分を見通し、その成果を生活の中で生かそうとする。

② 単元で育てようとする資質や能力及び態度

【学習方法に関すること】

ア 複雑な問題状況の中から適切に課題を設定する。

イ 複雑な問題状況における事実や関係を把握し、自分の考えをもつ。

【自分自身に関すること】

ウ 自己の将来を考え、夢や希望をもつ。

【他者や社会との関わりに関すること】

エ 異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重する。

③ 単元で学ぶ内容

ア 経済的自立と働くことの意味 イ 地域で働く人の存在とその夢や願い

ウ 自分自身の将来展望を模索する取り組み

(3) 単元の評価規準

評価の観点		単元の評価規準
学習方法	課題設定	①職業人の話を聞き、自分の「働くということ」との捉え方の違いに気付き、追究課題を設定している。 ②将来の自己の姿の予想を基に、今の自分に求められていることについて新たな課題をもっている。
	思考分析	①事業所からのコメントの思いを推察して、「働くということ」への新たな視点や評価を見いだしている。 ②調査したことを基に自己の進路に対する自分の捉えを付け加えたり、関連付けたりして整理している。
自分自身	将来展望	①地域で働く人の存在を確認し、それぞれの職業の必要性や特徴をまとめている。 ②将来の自己の姿の予想を基に、学校や社会の中で自己の今後の関わりを明らかにしている。
他者や社会との関わり	他者理解	①人生の先輩の思いやこだわりを尊重し、自分の考えを伝えたり、他者の考えを受け止めたりしている。 ②自己の進路に対する自分の捉えを積極的にアピールしたり、他者の捉えのよさを受け入れたりしている。

(4) 指導と評価の計画

小単元名 (時数)	主な学習活動	評価規準及び評価方法
「働くということ」を見つめよう (8時間)	○単元オリエンテーションでねらいを知り、学習の必要性を感じ、見通しをもつ。 ○様々な職業について調べることで、「働くということ」の自分の捉えを見つめる。 ・様々な職業について文献やインターネット、周りの人々へのインタビューから調べ、それぞれの職業の特徴をまとめ、発表し合う。 ○今までの活動や適性検査などを利用して、職場体験をする事業所を選択・決定する。	課① 将① 思① 制作物による評価 ○ワークシート 制作物による評価 ○ワークシート 制作物による評価 ○ワークシート
「働くということ」を体験して調べよう (12時間)	○職場体験活動(2日間)の目標や探求計画を立て、事前訪問を行う。 ○2日間の職場体験活動に取り組み、「働くということ」についての新たな視点を得る。 ○2日間の職場体験活動を振り返り、新たな発見や気づきを整理し、課題の答えを考える。 ・職場体験活動を通して得た新たな発見や気づきを整理し、個人で新聞形式にまとめる。 ・事業所ごとのグループでコメントの分析を行い、新たな視点や価値を見出す。 ・新たな気づきとコメントの分析を組み合わせ、追求課題の答えを考える。	他① 思② 課② 自己評価・他者評価(事業所) ○ワークシート ○事業所からの評価カード 制作物による評価 ○個人の新聞 ○行動観察 観察・制作物による評価 ○行動観察 ・ワークシート

う う 自 (8時間) 己の「働くとい うこと」を伝えよ	○職場体験活動の前と後で、「働くということ」の意味や捉え方の広がりや深まりを確認する。 ○「働くということ」の意味や意義を話し合い、「働くということ」と今後の自己の姿との関わりを明らかにする。	将 ②	<u>観察・制作物による評価</u> ○行動観察 ○ワークシート
(7時間) 自己の進路計画を立てよう 本時 (1時間目)	○職場体験学習を基に、将来の自己の姿を考える。 ・数年後の自分を想像し、上級学校への進路を考えることへとつなげる。(本時) ・様々な上級学校について文献やインターネット、先輩へのインタビューから調べ、それぞれの上級学校の特徴をまとめ、発表し合う。 ・上級学校の意味や意義について考えを出し合い、将来のために今できることを考える。	課 ② 将 ② 他 ②	<u>制作物による評価</u> ・ワークシート ・行動観察 ・ワークシート

(5) 本時の指導

①目標

- 職場体験活動を振り返り、作成した自分史をもとに、自分の将来の姿を思い浮かべながら、調べる上級学校を決定することができる。

②展開

◎主体的な学びを引き出す手立て (学び合い)

学習活動・内容	生徒への援助・支援学習評価
1 本時のねらいと流れを確認する。	・1学期に行った職場体験学習を振り返り、本時の学習課題が進路選択へつながるものであると捉えられるようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 「○年後の私」をイメージし、進んでいくべき調べる上級学校を選ぼう。 </div>	
2 「○年後の私」を考える。 (1) 「50年後の私」までの自分自身の出来事・人生計画を考える。 ・20歳…大学生、コンビニのアルバイト、東京在住、卓球サークルで活動。 ・24歳…日立製作所の社員、東京在住、独身、趣味は海外旅行。 ・34歳…日立製作所社員、東京在住、妻と長男(2歳)がいる、趣味は海外旅行だが、子どもが小さく国内旅行が多い。 (2) (1) で考えた自分の生き方、人生計画をもとに、互いにインタビューをし、その年齢の自分になりきって話をする。 (3) 自分史に加筆、修正する。	・職場体験活動等の経験をもとに、これからの自分自身の生き方について考える。 ・それぞれの年代の職業、居住地、家庭、趣味の4つについて考えさせる。 ・具体例として教員自身の話をする事で、興味関心が高まるようにする。 ・6年後(20歳)、10年後(24歳)、20年後(34歳)、50年後(64歳)については必ず考えさせるようし、今後の進路について考える材料にする。 ・友人の人生計画について知り、様々な生き方や考え方があることを知る。 ◎その年齢の自分になりきって話をする事で、人生計画に書いていない部分について

<p>3 自分の人生計画をもとに、今後調べる上級学校についての条件について考える。</p> <p>(例) 大学進学率の高い高校。 技能が習得できる学校。 部活動の盛んな学校。</p> <p>4 本時の学習を振り返り、まとめをする。</p>	<p>も想像が膨らむようにする。</p> <p>◎話合いの中で友達の良い考えに触れ、人生計画に順次書き込んでよいことを伝える。</p> <p>自己の進路に対する考えから、調べる上級学校の条件を決定することができるか。 (自分史, ワークシート) (課題設定)</p> <p>・本時の学習で挙げた条件に合うような学校について、今後の学習で調べていくことを伝える。</p>
---	--

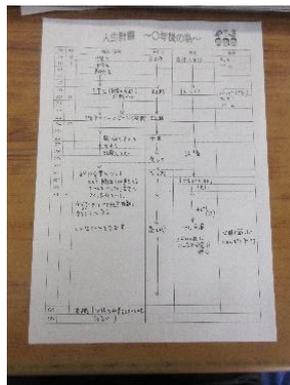
3 資料 (実践事例, 写真等)



職場体験の様子



これからの進路と
自分の人生計画



職場体験のまとめ(新聞づくり・発表)

4 成果と課題

(1) 成果について

- ①課題設定の段階で、興味のある又は自分が就きたいと考えている職業を取り上げたことで、生徒は熱心に取り組み、自主的な活動が見られた。
- ②他の生徒の人生計画を聞く活動を通して、人生には色々な選択肢があることを知り、自分で進路や職業を選択して人生を築いていくことを理解することができた。

(2) 課題について

- ①将来の自分を想像することができない生徒に対して、生徒自身がやりたいことや就きたい職業を考えるための発問の充実を図りたい。
- ②職場体験で学んだ礼儀や挨拶, マナーを学校生活の中で活かしたり自分の目標とする上級学校に進学するための努力としたりできるよう継続的な指導が必要である。
- ③現代社会における様々な問題を自分の課題として見だし、探究的な学習を通して自己の生き方を確立し、進路や将来の職業などを決める自己決定の場を増やす取組を行っていききたい。